

2021年6月15日

文化庁委託「日本語教育人材の研修プログラム普及事業 児童生徒【初任】」

公益社団法人日本語教育学会

**「子どものための日本語教育研修—子ども初任コース／講師育成コース」
受講者募集要項**

募集期間 2021年6月28日（月）～7月15日（木）

I 研修について

1. 趣旨・目的：

公益社団法人日本語教育学会は、2021年度文化庁事業「日本語教育人材の研修プログラム普及事業」を受託し、外国人児童生徒等に対する日本語教師初任研修（以下、子ども初任コース）、及び研修担当講師の育成研修（以下、講師育成コース）を実施いたします。「子ども初任コース」では、文化庁（2019）「児童生徒に対する日本語教師【初任】に求められる資質・能力」及び「研修における教育内容」に基づき、基礎的な内容を提供します。その目的は、外国人児童生徒等の背景や言語・学習環境、各地の受入れ・指導体制を理解して、キャリア支援や社会参加という視点をもって子どもたちの生活・学習に関連付けて日本語を教えられ、マイノリティである子どもたちのエスニシティやアイデンティティを考慮した教育・支援を行うことができる人材を育成することです。一方、「講師育成コース」では、文化庁（2019）に示される「日本語教育コーディネータ／主任教員」の資質・能力に準じて、児童生徒対象の日本語教育に携わる初任教師の研修を企画し、講師として研修を運営できる人材の育成を目的とします。この二つのコースを、4つの地域（北関東・甲信ブロック、南関東ブロック、北陸ブロック、近畿ブロック）で実施します。本学会は本事業で、児童生徒の教育・支援を行う初任日本語教師と、その研修を担う講師人材の育成を通じて、各地域の日本語教育・支援活動に貢献することを目指します。

なお、本研修は遠隔での実施を基本としますが、新型コロナの感染状況・ワクチン接種の実施状況等に鑑み、可能な場合は、一部をハイフレックス（直接対面とオンラインの併用）で実施する可能性があります。

2 研修実施期間

令和3（2021）年8月1日（日）～令和4（2022）年2月20日（日）

3 実施方法

(1) 実施方法

4 地域ブロックでの実施

次の4地域ブロックで研修を実施します。応募時にブロックを選択し、そのブロックの研修に参加します。

A. 北関東・甲信ブロック、B. 南関東ブロック、C. 北陸ブロック、D. 近畿ブロック

遠隔による研修の実施

基本的には遠隔での研修となります。「オンデマンドの学習」と「オンライン同時双方向の対面学習（Web 会議システムの Zoom を利用）」を組み合わせた複合型の学習形態です。ただし、一部については、ハイフレックス（直接対面参加とオンライン同時双方向の対面参加の併用）で実施する場合があります。4 ブロックで、それぞれの地域の新型コロナの感染状況、ワクチン接種などの感染予防・防止対策の実施状況に応じて、実施形態を決定します。

6 つのクールに分けて実施

8 月から 2 月中旬までの 6 ヶ月余りの研修期間を、6 クールに区分して実施します。各クールは、オンデマンドの動画視聴による学び、受講者各自の課題の遂行、スクーリング（オンライン／ハイフレックスの同時双方向の対面学習）で構成されます。この他、実習を実施します。

(2) 各コースの実施内容とスケジュール

①子ども初任コース

60 単位（講義・演習 54 単位＋実習 6 単位、1 単位時間＝45 分）

1) オリエンテーション 1 単位

研修の内容と進め方等について研修初日（8 月 1 日（日）10:00-11:00）に実施します。

オンラインで、4 地域ブロックの全受講者を対象に行います。

2) 講義・演習

1 クールを 9 単位時間とし、オンデマンド学習（3 単位）・課題の遂行（3 単位）・スクーリング（＝オンライン同時双方向／ハイフレックスの対面学）（3 単位）で構成します。6 クールで 54 単位となります。

- ・オンデマンド学習では、動画教材による講義（視聴）を行います（3 単位時間）
- ・講義後、スクーリングの講師が指定する課題を遂行します（3 単位時間）
（全体のオリエンテーション（1 単位）もスクーリングの一部になります。）
- ・課題提出後、オンライン／ハイフレックスによる同時双方向のスクーリングで、課題の振り返りや、発展的学習を行います。（3 単位時間）

3) 実習

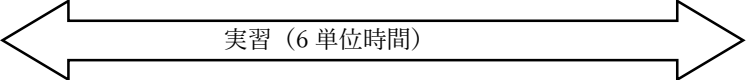
各地域（ブロック）によって実施時期・内容・方法が異なります。6 単位時間実施します。

実習の内容・方法の例（2020 の例）

- ・動画で、学校・地域の教室における教育・支援の実際の様子を観察
- ・日本語・学習支援教室で実施しているオンライン支援に参加・参観
- ・当該地域の学校・支援教室の参観（対面）
- ・オンラインで、支援教室で学ぶ子どもたちにインタビュー
- ・オンライン（zoom）で、模擬授業を実施（学習指導案作成・模擬授業の実施・振り返り）等

＜子ども初任コースのスケジュール（目安）＞

クール	オリエンテーション	第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	第5クール	第6クール
時期（目安）	8月1日（日） 10:00-11:00	8月	9月	10月	11月	12月	1～2月



実習（6単位時間）

②講師育成コース

60単位（講義18単位＋チューター活動18単位＋演習18単位＋子ども初任コースの実習への参加6単位 1単位時間＝45分）

1) 講義（18単位）

各クールでオンデマンド学習として動画教材による講義（視聴）を行います（各クール3単位）

2) チューター活動（18単位）

子ども初任コースのスクーリング（オンライン／ハイフレックス）にチューターとして参加します。（各クール3単位）

3) チューターセッション（演習）（18単位）

講師育成コース受講者全体で行うオリエンテーション（1単位）と最終のまとめ（3単位）、地域毎に実施する研修の企画運営に関する演習（13単位）からなります。

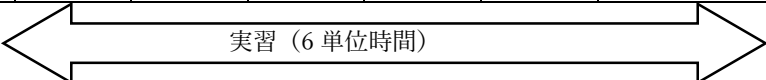
- ・オリエンテーションとまとめの演習は、全4地域ブロックの受講者全員でオンライン同時双方向の対面研修を実施します。
- ・地域毎の演習は、スクーリングの前後に、講師育成コースのコーディネータとチューター活動・初任研修の企画・運営に関する演習を行います。（各回2～3単位、合計13単位）

4) 子ども初任コースの実習への参加（6単位）

講師育成コースの受講者の皆さんにも、子ども初任コースの受講者と同じ実習を実施します。

＜講師育成コースのスケジュール（目安）＞

クール	オリエンテーション	第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	第5クール	第6クール	振り返り
時期（目安）	8月1日（日） 10:00-11:00	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月6日（日） 午後



実習（6単位時間）

③オリエンテーション等全体で実施する活動（出席が求められます）

◇子ども初任コースオリエンテーション 2021年8月1日（日）10:00-11:00

◇講師育成コースオリエンテーション・まとめのセッション

2021年8月1日（日）10:00-11:00

2022年2月6日（日）13:00-16:00

④スクーリングの日程（子ども初任コース・講師育成コース共通）

両コースの受講者とも、基本的にはスクーリングの全てに参加することが求められます。

ブロック	スクーリング等	日程		講師（予定）
北関東・甲信 ブロック	スクーリング 1	8月21日（土）	13:00～16:00	萩原 孝恵
	スクーリング 2	9月18日（土）	13:00～16:00	栗林 恭子
	スクーリング 3	10月16日（土）	13:00～16:00	志村 ゆかり
	スクーリング 4	11月20日（土）	13:00～16:00	栗林 恭子
	スクーリング 5	12月18日（土）	13:00～16:00	村澤 慶昭
	スクーリング 6	1月22日（土）	13:00～16:00	志村 ゆかり
南関東 ブロック	スクーリング 1	8月21日（土）	13:00～16:00	五十嵐 恵美
	スクーリング 2	9月18日（土）	13:00～16:00	立山 愛
	スクーリング 3	10月9日（土）	13:00～16:00	唐木澤みどり
	スクーリング 4	11月6日（土）	13:00～16:00	今泉 智子
	スクーリング 5	12月4日（土）	13:00～16:00	今泉 智子
	スクーリング 6	1月29日（土）	13:00～16:00	立山 愛
北陸 ブロック	スクーリング 1	8月21日（土）	12:30～15:30	半原 芳子
	スクーリング 2	9月11日（土）	12:30～15:30	青木 由香
	スクーリング 3	10月9日（土）	12:30～15:30	原田 徳子
	スクーリング 4	11月6日（土）	12:30～15:30	原田 徳子
	スクーリング 5	12月4日（土）	12:30～15:30	青木 由香
	スクーリング 6	1月22日（土）	12:30～15:30	半原 芳子
近畿 ブロック	スクーリング 1	8月21日（土）	13:00～16:00	櫻井 千穂
	スクーリング 2	9月18日（土）	13:00～16:00	新谷 遥
	スクーリング 3	10月23日（土）	13:00～16:00	櫻井 千穂
	スクーリング 4	11月20日（土）	13:00～16:00	浦 久仁子
	スクーリング 5	1月8日（土）	13:00～16:00	新谷 遥
	スクーリング 6	2月5日（土）	13:00～16:00	高柳 なな枝

※実習の日程は、実習の実施方法等を検討したうえで決定する（8月の研修開始時に通知予定）。

4 動画教材の研修内容（シラバス）

子ども初任コース・講師育成コースとも、児童生徒を対象とする日本語教育の基礎的内容に関する講義を受講します。受講方法は、オンデマンドによる動画教材の視聴です。

①子ども初任コース

講義内容に関する課題の提出が求められます。スクーリングでは、受講者が提出した課題をもとに、各地域ブロックにおける子どもの日本語教育・支援の状況等に関して発展的に議論を行います。

＜子ども初任コース・講師育成コース 講義シラバス＞

	No. 科目	項目	動画 本数
第1 ク ー ル	1. 外国人児童生徒等の背 景・現状・課題 (6単位)	①外国人児童生徒等の現状と課題 ②外国人児童生徒等の社会的・文化的背景 ③外国人児童生徒等施策	2
		④地域の現状と課題 (外国人集住地域・散在地域) ⑤学習権・不就学 ⑥多文化共生	
	2. 外国人児童生徒等の支 援体制とネットワーク (3/6単位)	⑦地方自治体の受け入れ体制 ⑧学校の教育体制 ⑨地域の支援体制	1
	2. 外国人児童生徒等の支 援体制とネットワーク (3/6単位)	⑩地域のリソースと社会的ネットワーク ⑪保護者との連携・協力 ⑫エスニック・コミュニティ	1
第2 ク ー ル	3. 外国人児童生徒等の文 化適応 (6単位)	⑬異文化適応 ⑭異文化間能力 ⑮自文化中心主義・文化相対主義	2
		⑯文化間移動とアイデンティティ ⑰生育環境 ⑱社会化	
第3 ク ー ル	4. 外国人児童生徒の言語 習得と認知発達 (6単位)	⑲発達段階と言語習得 ⑳バイリンガリズム ㉑母語・継承語・第二言語	2
		㉒生活言語能力と学習言語能力 (特別支援のニーズを含む) ㉓リテラシーの発達 ㉔言語能力の測定 (筆記テスト、DLA 等)	
	5. 外国人児童生徒等の日 本語教育のコースデザイ ン (3/6単位)	㉕コースデザイン ㉖「特別の教育課程」による日本語指導 ㉗評価の対象と方法	1
第4 ク ー ル	5. 外国人児童生徒等の日 本語教育のコースデザイ ン (3/6単位)	㉘初期指導 (サバイバル日本語・日本語の基礎) ㉙中期指導 (技能別日本語) ㉚日本語と内容 (教科等) の統合学習 (JSL カリキュラム等)	1
		6. 外国人児童生徒等の日 本語教育の方法と実際 (6/12単位)	

		㉔教材・教具の活用 1 (体験型教材・教具) ㉕教材・教具の活用 2 (教科書等の活用・著作権) ㉖教材・教具の活用 3 (ICT)	
第5 ク ー ル	6. 外国人児童生徒等の日本語教育の方法と実際 (6/12 単位)	㉗子どものための音声指導 ㉘子どものための文字指導 ㉙子どものための文法指導 ㉚子どものための語彙指導 ㉛子どものための文章・談話指導 ㉜言語生活	2
	7. 社会参加のための日本語学習支援 (3/6 単位)	㉝キャリア教育 ㉞ロールモデル ㉟市民性教育	1
第6 ク ー ル	7. 社会参加のための日本語学習支援 (3/6 単位)	㊱進路選択支援 1 (進学) ㊲進路選択支援 2 (就労) ㊳社会活動への参加支援	1
	8. 外国人児童生徒等のライフコースと日本語教師の成長 (6 単位)	㊴ライフコース 50 エンパワーメント 51 人権・社会的正義・公正さ 52 実践の共有 53 対話と省察 54 専門家との連携・協力	2

②講師育成コース

上記の講義(動画教材)を視聴した後、子ども初任コースのスクーリングにチューターとして参加し、講師育成コーディネータのもとで以下の内容について学びます。

- (1) 日本語教育人材に対する研修の企画・立案
- (2) 日本語教育に関わる国及び地方公共団体の施策
- (3) 教育機関の運営に関する基礎知識
- (4) 在留外国人施策・入国管理制度・教育行政と地域における外国人の出身国の最新動向の把握
- (5) 日本語教育のプログラムデザイン
- (6) 事例研究
- (7) キャリア支援
- (8) 活動と広報

5 担当講師

<講義担当講師(動画教材)>

池上摩希子(早稲田大学)・市瀬智紀(宮城教育大学)・伊東祐郎(国際教養大学)・内海由美子(山形大学)・金田智子(学習院大学)・川口直巳(愛知教育大学)・河野俊之(横浜国立大学)・齋藤ひろみ

(東京学芸大学)・櫻井千穂(大阪大学)・菅原雅枝(愛知教育大学)・武一美(NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ)・田中祐輔(青山学院大学)・中川祐治(大正大学)・中山あおい(大阪教育大学)・原瑞穂(上越教育大学)・松本一子(名古屋柳城女子大学)

<子ども初任研修担当>

コーディネータ：徳井厚子(信州大学)・齋藤ひろみ・原瑞穂・和泉元千春(奈良教育大学)

講師：

北関東・甲信ブロック：栗林恭子(松本市子ども日本語教育センター)・志村ゆかり(一橋大学)・萩原孝恵(山梨県立大学)・村澤慶昭(武蔵野大学)

南関東ブロック：五十嵐恵美(豊橋市教育委員会)・唐木澤みどり(学習院大学)・今泉智子(山形大学)・立山愛(別府大学)

北陸ブロック：青木由香(アレッセ高岡)・原田徳子(福岡市日本語サポートセンター)・半原芳子(福井大学)

近畿ブロック：浦久仁子(堺市立三原台中学校)・櫻井千穂(大阪大学)・新谷遥(京都外国語大学)・高柳なな枝(地球っ子クラブ2000)

<講師育成コース担当>

コーディネータ：河野あかね(つくばインターナショナルスクール)・谷啓子(立教大学)・有田佳代子(新潟大学)・清田淳子(立命館大学)

II 受講者の募集について

1 募集人数

①子ども初任コースの応募について

募集人数：80名程度

地域ブロック	北関東・甲信	南関東	北陸	近畿
募集人数	20名程度	20名程度	20名程度	20名程度

②講師育成コース：20名程度

地域ブロック	北関東・甲信	南関東	北陸	近畿
募集人数	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度

2. 応募資格と条件

(1) 応募資格

①子ども初任コース

- ・いわゆる「日本語教育の有資格者」で、児童生徒に対する日本語教育の経験が0～3年(初任)の者。または、これに準ずる者(詳しくはお問い合わせください。)
- ・現在、または将来的に当該地域の児童生徒の日本語教育に貢献する意欲がある者。

②講師育成コース

- ・「児童生徒に対する日本語教育の初任研修」の講師を務めるに当たって、相応しい専門性と経験を有する者。
- ・「児童生徒に対する日本語教育の初任研修」の講師等を勤める可能性があり、現在、または将来的に当該地域の日本語教育に貢献する意欲がある者。

(2) 応募条件

1) オンライン／フレックスの同時双方向対面研修、実習に出席できること

- ①子ども初任コース受講者は、基本的にはオリエンテーションおよび6回のスクーリング、実習の全てに参加すること。
 - ②講師育成コース受講者は、基本的にはオリエンテーション・6回のスクーリング・まとめのセッション、実習の全てに参加すること。
- ### 2) Web 会議システム (Zoom) による研修への参加やクラウド上の情報交換ができる環境を整えられること。
- ### 3) 実施した課題の共有や、スクーリングでの意見交換に積極的に参加すること。
- ### 4) 母語、国籍は問いませんが、日本語でのグループでの作業や話し合い等に支障がない程度の日本語力を有すること。

3. 受講料

受講料は両コースとも、10,000 円です。

遠隔による研修において、受講する上で必要な環境の整備・通信費などは各自のご負担となります。また、スクーリングをフレックス（オンラインと一部直接対面）で実施する場合や、実習の一部を実地で行う場合もありますが、それに係る交通費、また、必要な文具類などについても自己負担となります。

なお、受講料の支払い方法等については、受講決定後に改めてご連絡します。

4 修了要件・修了証

それぞれのコースに関し、次の要件を満たした研修生に修了証を授与します。

①初任子どもコース

- ・ 2 / 3 以上参加していること。
- ・ 提出課題、及びスクーリングの活動において、目標を概ね達成できていること。
- ・ 実習（6 単位）に参加して課題を提出していること。

②講師育成コース

- ・ 研修に 80%以上参加していること。
- ・ チューターとしての活動、及び演習における課題において、目標を概ね達成できていること。

5 応募方法

所定の Google フォームに必要事項を記入して、送信してください。応募用の Google フォームは、募集開始日（6月28日）に、学会 Web サイトでお知らせします（トップページのバナー他で）。

定員を超えた場合は、応募時の申請内容をもとに選考を行い、結果を通知します（申請時に申告した連絡先のメール宛）。

6 問い合わせ先

公益社団法人日本語教育学会 「子どものための日本語教育研修事務局」

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会 2F

E-mail: bunka-shonin@nkg.or.jp（担当：奥山）

※担当者が在宅勤務等で不在の場合がございますので、お問い合わせはなるべくメールでお送りくださいますようお願いいたします。お問い合わせの回答に少々お時間がかかる場合がございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしく願いいたします。